

平成30年10月25日

2018年11月3日(土)
活動開始!

越谷市では、市の知名度向上やシビックプライド（郷土愛）の醸成を図り、“まち”のブランドイメージの向上につながる「こしがや」の魅力の発信に取り組んでいます。

このたび、市にゆかりのある著名人・団体を「こしがやの未来を創る魅力宣伝大使」に委嘱し、地域の誇りとして、その魅力を内外に広告宣伝するとともに、子どもたちの身近な憧れの存在として、夢や希望のあるメッセージを発信することになりました。

また、委嘱状交付式を11月13日（火）の15時30分から市役所本庁舎2階庁議室で開催します。

1. 委嘱者

- ・NGT48 荻野由佳さん（アイドル）
 - ・星奈津美さん（元競泳日本代表）
 - ・益若つばささん（モデル・商品プロデューサー）
 - ・阿炎政虎さん（大相撲幕内力士）
 - ・越谷アルファーズさん（男子バスケットボールチーム）
- ※各大使のプロフィールおよびコメント等は【別紙】を参照

2. 任期

原則3年間（2018年11月3日から2021年3月31日まで）

3. 趣旨（目的と効果）

- ・地域の誇りとして、その魅力を市内外に広告宣伝し、市の知名度およびブランドイメージの向上を図る。
- ・子どもたちの身近な憧れの存在として、夢や希望のあるメッセージを発信し、地域に住む人のシビックプライド（郷土愛）の醸成を図る。
- ・地域と人による未来につながるプロモーションを展開し、地域活性化を実現する。

4. 主な活動

- （1）写真および動画等（大使活動で使用したもの）を活用したプロモーション
- （2）メディア出演時等における市のPR
- （3）イベント（田んぼアート、花火大会、南越谷阿波踊り等）・式典等への参加
- （4）子どもたちへのビデオメッセージの発信（就任式・卒業式等）

5. 委嘱状交付式

- (1) 日 時：2018年11月13日(火) 15:30~16:30
- (2) 出席者：星奈津美氏、越谷アルファーズ、荻野由佳氏(調整中)
※益若つばさ氏、阿炎政虎氏については欠席。
- (3) 場 所：市役所本庁舎2階庁議室

6. キービジュアル「越谷のいい所」

キャンパスアートアワード2017(読売中高生新聞・コクヨ株式会社共催)で、グランプリを受賞した後藤杏菜さん(越谷市立中央中学校2年生)の作品「越谷のいい所」をキービジュアルとして採用しました。

大使の委嘱状や名刺のほか、ポスターやパネルで使用しています。また、専用WEBページのバナーとしても使用するなど、未来に向けてメッセージを発信するコンセプトを表現した重要なデザインとなっています。

7. 専用WEBページの開設

越谷市ホームページ内に専用のページを開設し、大使の動画メッセージを公開するとともに、活動の事前告知や報告をします。なお、公開日は2018年11月2日(金)を予定しています。

●大使専用ページURL

<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/citypromotion/sendentaishi/index.html>

※越谷市ホームページトップページよりシティプロモーションサイトに移動。

【写真提供】

JPEG データでの提供が可能です。

○提供可能なデータ

- ・大使プロフィール写真
- ・NGT48荻野由佳氏、委嘱状交付の様子
(11月13日欠席の場合)



【大使専用ページ QR コード】

【問合せ先】 環境経済部観光課
(直通) 048-967-1325

【別紙】

①NGT48 萩野由佳さん



○プロフィール

1999年2月16日生 A型

NGT48 1期生メンバー／チーム NIII 副キャプテン ホリプロ所属
バイト AKB などでの活動を経て、2015年5月に第2回 AKB48 グループドラフト会議において、新潟県を拠点に活動する AKB48 の姉妹グループ「NGT48」からの指名を受け加入。AKB48 シングル選抜総選挙では、2017年は5位、2018年は4位に輝く。また、NGT48 のシングルでは、「世界はどこまで青空なのか?」「世界の人へ」の2作でセンターを務める。「何があってもへこたれない」がキャッチフレーズ。

※「大使就任にあたっての抱負」、「越谷市制施行 60 周年にあたってのコメント」、「市内子どもたちに向けたエール、コメント」については現在調整中のため、10 月 26 日（金）以降に観光課までお問い合わせください。

②星奈津美さん



○プロフィール

1990年8月21日生まれ。鷺後小学校、栄進中学校、春日部共栄高校、早稲田大学卒業。

1歳半からベビースイミングに通い始め、競泳人生のスタートを切った。高校1、2年生時にインターハイで2連覇を達成、3年時の日本選手権では高校新記録を出し、自身初となる2008年北京オリンピックに出場。

その後も日本記録を出し続け、2012年のロンドンオリンピックで銅メダルを獲得。しかし、高校時に発症したバセドウ病が悪化し、一時的に競技から離れることを余儀なくされ、手術を決断した。苦難を乗り越え、2015年の世界水泳選手権200mバタフライでは日本競泳女子選手として大会史上初の金メダルを獲得。翌2016年リオデジャネイロオリンピックで見事2大会連続の銅メダルを獲得。

同年10月には「全て出し切った」と引退を表明し、現在は日本水泳連盟のアスリート委員、メディアやイベント出演、水泳教室、講演会などと幅広く活動し、新たなチャレンジを行っている。

大使就任にあたっての抱負

この度、「こしがやの未来を創る魅力宣伝大使」に任命いただき大変嬉しく思います。

私が生まれ育った越谷市には、歴史や伝統、文化や食など数多くの魅力があふれています。その越谷市の魅力を、より多くの方にお伝えしていくとともに、スポーツを通して心も体も健康で活気があふれるまちをみなさんと共につくっていきたいと思っています。

越谷市制施行60周年にあたってのコメント

この度は、越谷市制施行60周年、おめでとうございます。

この記念すべき節目に「こしがやの未来を創る魅力宣伝大使」という形で携わることができ、心より感謝申し上げます。この先、50年、100年、その先もずっと、これまで皆さんが積み重ねてきた歴史や誇りを人から人へ大切に伝えていき、越谷がより笑顔あふれる未来に繋がるように願っています。

市内子どもたちに向けたエール、コメント

私は皆さんと同じ越谷市で生まれ育ち、小学校2年生の時に「オリンピックに出たい」という夢を持ちました。その夢を叶えることができたのは、家族や先生、友達がずっと私の夢を応援してくれたからです。

今、皆さんの周りには、大人になってからも楽しいことや苦しいことを一緒に乗り越えてくれる大切な仲間になります。

ぜひ、越谷という絆で繋がっている仲間を大切に、苦しいときは支えあいながら、これからも色々なことに挑戦していきましょう。

③益若つばささん



○プロフィール

モデル／商品プロデューサー

1985年10月13日生まれ。

高校生の頃から雑誌 Popteen に登場しはじめ、カリスマモデルとして若者から絶大な人気を博した。

アパレルブランドやコスメブランドなど多岐にわたるプロデュース業を担い、その経済効果は海外を含め 1000 億円以上とも言われている。

大使就任にあたっての抱負

今回、「こしがやの未来を創る魅力宣伝大使」を務めさせていただくことになりました。ありがとうございます。

私は生まれも育ちも越谷市で、学生時代から大人になるまで越谷市で育ちました。そのため都内で遊ぶよりも、越谷市で過ごすことが多かったです。当時は、越谷花火大会や南越谷阿波踊りを毎年楽しみにして、参加していました。高校生の時は南越谷付近で遊ぶことが多く、プリクラを撮ったり、買い物をしたり、ご飯を食べたりしていたので、私のおススメの穴場のお店や楽しいスポットなどを、自分なりに伝えていけたらいいと思います。

そしてイベントでも越谷市民の皆さんとお会いできることをすごく楽しみにしています。一緒に越谷市を盛り上げられたら嬉しいので、是非応援宜しくお願いします。これから頑張りたいと思います。

越谷市制施行 60 周年にあたってのコメント

今回、越谷市制施行 60 周年を迎えるということで、おめでとうございます！

そして私も越谷市制施行 60 周年を機に、今回「こしがやの未来を創る魅力宣伝大使」を務めさせていただくことになりました。ありがとうございます。

私は生まれも育ちも越谷市でした。越谷市での思い出といえば、学生時代に友人と地元越谷で遊んだことや、アルバイトもずっと越谷市内でしていたことを思い出します。高校生の時はプリクラを撮ったり、買い物に行ったりして、普段生活するのに何も困ることがないくらいすごく素敵な町だと思います。

今ではイオンレイクタウンができ、益々越谷が発展していると感じていますので、私も「こしがやの未来を創る魅力宣伝大使」として、もっと市外の色々な方々に越谷市の魅力を伝えていきたいと思っています。

今後、頑張って活動していきたいと思いますので、皆さん応援宜しくお願いします。

市内子どもたちに向けたエール、コメント

私自身生まれも育ちも越谷市で、学生時代は市内から学校に通っていました。小さいときは、アミを持って虫取りに行ったり、ザリガニ釣りに行ったり、自然の中で過ごしたことをとても印象的に覚えています。とても素晴らしい環境で育ったと思います。

中学生の時は、私の学校は歌が盛んな学校で、応援歌や合唱コンクールにすごく力を入れていました。そういった学校生活があったからこそ今、皆さんの前で一生懸命頑張ることや一致団結することを学ぶことができ、素晴らしい学生生活を送ることができたと思います。

今回「こしがやの未来を創る魅力宣伝大使」になったということで、皆さんともお会いする機会も増えたらいいなと思っていますし、私自身すごく楽しみにしていますので皆さんもぜひ会いに来てください。これから越谷市を盛り上げていきたいと思います。

④阿炎政虎さん



○プロフィール

1994年5月4日生まれ。西方小学校3年生から本格的に相撲をはじめ、大相模中学校、千葉県立流山南高校在学中には全国大会などで上位の成績を残した。

高校卒業後、鑿山（しころやま）部屋に入門し、2013年5月場所に初土俵を踏む。2017年3月場所で幕下優勝、同年9月場所で十両優勝。2018年1月場所で新入幕を果たし、10勝5敗の好成績で敢闘賞を受賞。西前頭四枚目（2018年9月場所時点）。身長187センチ、体重140キロ、得意技は突き・押し。

大使就任にあたっての抱負

この度、「こしがやの未来を創る魅力宣伝大使」に委嘱していただき、ありがとうございます。私は相撲を通して様々な土地を訪れてきましたが、やはり生まれ育った越谷市での時間が一番落ち着きます。休みが取れると帰省し、家族との時間を大切にしています。私のふるさと越谷市をたくさんの人に知ってもらえるように、頑張っ

越谷市制施行60周年にあたってのコメント

11月3日で越谷市が市制施行60周年を迎えるとのことで、誠におめでとうございます。これからも、10年、20年とさらに越谷市が市民のみなさんの笑顔あふれる市として発展していくことを願っております。

市内子どもたちに向けたエール、コメント

私が小学校1年生の時、出羽公園で開催された「わんぱく相撲越谷場所」に出場したことがきっかけで、相撲を始めました。自分の原点だと思っています。これまで、自分がこうなりたいという目標は、言葉にして周りの人たちに言うことで、努力してきました。皆さんも自分自身のやり方で自分の夢をかなえるために頑張ってください。

⑤越谷アルファーズさん



○プロフィール

B3 リーグに所属している男子バスケットボールチーム。

2017年11月に越谷市よりBリーグクラブ発足に関する支援書の交付を受け、越谷市からはホームゲームにおける越谷市立総合体育館の使用やチーム普及活動に関する支援を、アルファーズは越谷市の魅力発信や地域活性化に協力し、相互の協力体制を築いている。

今シーズン（2018-2019）からは本格的に越谷市にホームタウンを移し、チーム名も新たに“越谷”アルファーズに変更した。暮らしやすく平穏な街、越谷にバスケットボールを通じて興奮や感動を感じてもらえるように様々な活動を行っている。

大使就任にあたっての抱負

平穏で暮らしやすい越谷市に、バスケットボールを通じて興奮と感動を与え、越谷の皆様の生活を豊かなものにしていきたいと思えます。越谷の魅力を日本中に届けたいと思えます。

越谷市制施行60周年にあたってのコメント

越谷市制60周年、誠におめでとうございます。アルファーズはこれからますます越谷市とともに強く、愛されるチームになり、成長していきたいと思えます。応援よろしく願いいたします。

市内子どもたちに向けたエール、コメント

アルファーズは常に全力で戦います。負けることもあるかもしれませんが、しかし、全力で戦うことで成長できます。皆さんも何事にも全力でチャレンジしてみてください。